



悪魔が祈りを止める方法

天の領域における戦い

ジョン・ムリンデ 2000年11月オーストリア (Obsteig)にて
<http://www.DivineRevelations.info/JAPAN>

ある救われた人の証をシェアしたいと思います。その人は以前悪魔に仕えていました。その人が証をした後、私にはその証がとても挑戦的でした。その証を信じたくありませんでした。主に「このことは本当なのですか」と聞くために、十日間の断食をしなければなりませんでした。すると主は、私たちが祈る時、霊的領域において何が起きているのかを教え始められました。

その男性は、両親がルシファーに自らをささげた後に生まれました。彼が子宮の中にいたとき、両親は彼をルシファーに捧げるために多くの儀式を行いました。4歳になると、彼は霊的な力を試し始め、両親は彼を恐れ始めました。彼が6歳になると、彼の父親は訓練するために魔術師たちのもとへ彼を連れて行きました。10歳になる頃には、彼は悪魔の国のために驚異的な功績をあげていました。普通の魔術師たちは彼を恐れていました。

彼はまだ少年でしたが、彼のやっていたことはとても恐ろしいことでした。20代のときには彼の手は血まみれでした。彼は気の向くままに殺しました。また超越瞑想を通して、自分の体から抜け出る能力も持っていました。そして、地面から自分の体を上昇させ、空中にとどまらせ、空中浮揚することが出来ました。また、「アストラル旅行」と呼ばれる技法を使って、トランス状態に入り自分の体を抜け出し、肉体をおいたまま世界中に行くこともできました。彼は多くの教会を破壊したり分裂させたり、多くの牧師を滅ぼすために悪魔によって用いられました。



ある日、彼は祈りで満たされている教会を破壊するために任命されました。教会には多くの部門があり、また混乱がありました。彼はその教会に対して働き始めました。しかしそのとき、牧師が教会全体に断食を呼びかけました。教会が断食を始めると、たくさんの悔い改めと和解が起きました。人々は協力し合い、主である神様を中心とする働きのために祈り始めました。彼らは続けてとりなしをし、神が彼らをあわれんでくださり、彼らの人生に介入されるようにと神に叫び求めました。数日が経ち、彼は悪霊を連れて何度もこの教会を訪れました。しかし、この教会を攻撃している暗闇の力に反抗して戦うため、クリスチャン達に立ち上がるように呼びかける預言の言葉が与えられました。

ある日、その男性は自分の肉体を自室において、アストラル旅行に出かけました。彼は強力な悪霊を引き連れて教会に行きました。これは彼の証です。彼の霊が教会の上に移動し、教会を攻撃しようとしていました。しかし、教会は光で包まれていました。突然、天使の軍勢が彼らを攻撃し、空中でバトルを繰り広げました。全ての悪霊たちは逃げ去り、彼は天使によって捕らえられました。



そうです、天使に捕らえられたのです！彼は六人程の天使につかまれていました。天使たちは屋根を突き抜けて教会の祭壇の前まで彼を連れて行きました。人々が祈っていると、彼がそこに現れたのです。人々は深い祈りの中にいて、縛り、破壊し、追い出したりして霊的戦いをしていました。牧師は教壇に立って、霊的戦いと祈りをリードしていました。主の霊が牧師に言いました。「くびきは破壊された。犠牲者があなたの目の前にいる。解放を通して彼を助けなさい。」牧師が目を開くと、少年が横たわっていました。彼の肉体もそこにあり、彼は肉体の中にいました。彼は、どうやって自分の体と一体化できたのか分からない、自分の体は家に置いてきたのに、と言いました。しかし、彼の体は実際にそこにありました。彼は自分がどうやって体の中に入ったのか分かりませんでした、唯一分かったことは、天使が彼を屋根を突き抜けて運んできたことだけでした。

これらのことは信じ難いでしょう。牧師は教会の人々を静かにさせ、主が牧師に何と語られたのかを彼らに伝えました。またその少年に尋ねました。「あなたは誰ですか？」悪霊が少年から出始めたので、彼は震えていました。人々は彼の解放のために祈り、その後彼は自分の生涯について話し始めました。今やこの少年は主の元に来て、福音を伝える伝道者です。彼は力強く主に用いられ、解放を通して人々を自由にしています。

ある日私（ジョン・ムリンデ）はディナーに出かけました。外食した唯一の理由は、ある人からこの少年について聞き、私は彼に会って、彼の話が本当かどうか確かめたいという好奇心にかられたからです。私はディナーの席に座り、この夜この少年には証する機会が与えられました。彼は多くのことを話しました。彼は自分のしてしまったことについて時々泣き、それが終わると訴えかけました。

その部屋には多くの牧師がいました。少年は言いました。「牧師たちをお願いします。人々に祈る方法を教えてください。祈り方を知らない人々は、すべて持っていかれます。悪魔に全て奪われてしまいます。人々の生活や祈りにつけ込む多くの方法があるのです。敵は祈り方を知らない人々の祈りにつけ込む方法を知っています。神から与えられている霊の武具を使う方法を教えてください。」



それから彼は空中で彼がどのようにリードしていたのか分かち合いました。彼は他の悪魔の仲介者や多くの悪霊のところに行きました。それは仕事のシフト制のようなもので、外に出て自分のシフトを働いていました。なので定期的に彼は外に行かなければならず、天においての戦争を遂行しなければなりません。そして彼は、天において霊的領域において、その土地が闇の毛布に覆われているなら、それは密度が濃く硬い岩のようだと言いました。そしてその毛布は全域を覆います。悪霊たちは毛布の上から下まで行き来し、そこから地上の出来事に影響を与えることが出来ます。

悪霊と人間の悪魔の仲介者が自分たちのシフトを終えると、自分たちの霊を回復させるために、地球上にある水の上や地の上の契約の場所へと降りていきます。どのように彼らは霊を回復させるのでしょうか？それは人々が祭壇に捧げるいけにえによってです。それらは、公での魔術、中絶・戦争・人間や動物のいけにえなどを含む血を流すタイプのもので、また、人々が行う異常な性行為やあらゆる乱交などの性的不品行もいけにえとなります。そのような行為は彼らの力を強化します。多くの異なる種類のいけにえが存在します。

彼は言いました。悪魔の仲介者が天の領域に居るとき、クリスチャンが地上で祈り始めると、彼らの目にはクリスチャンの祈りは三つの形で現れると言っていました。全ての祈りは煙のように天に立ちのぼります。



いくつかの祈りは煙のようで、空中に漂い消えます。これらの祈りは、罪を犯している人々からきて、彼らは罪を対処しようとしません。彼らの祈りはとても弱く、吹き飛ばされて空中に消えます。

別のタイプの祈りもまた煙のようで、岩にまで到達しますが、この岩を突き抜ることができません。これらの祈りは大抵、自分達の罪を自分で取り除こうとし、祈る時に信仰がかけている人々から来ます。大抵彼らは、祈るときに必要な他の大切な側面を無視しています。



三つ目のタイプの祈りは、火に満たされている煙です。その祈りが立ち上って岩に触れると、とても熱いので岩はワックスのように溶け始めます。そして岩を突き抜け、通過します。

多くの場合人々が祈り始める時、彼らの祈りは一つ目のタイプです。しかし、祈り続けることによって、祈りは変わり、二つ目のタイプになっていきます。そして、さらに彼らが祈り続けることで、突然火が点火します。彼らの祈りは非常にパワフルになり、岩を突き抜けるようになるのです。

悪魔の仲介者達は、祈りが変化し火のような状態に変わりそうになるのに気づきます。そして仲介者たちは地上の他の霊と連絡をとって命令するのです。「彼らの気を散らせろ。祈りをやめさせろ。彼らを撤退させろ。」

クリスチャンは幾度となく、彼らの気を散らすための敵の策略に屈してしまっているのです。彼らが困難を押し分けて進み、悔い改め、自分たちの霊を聖書の言葉を用いて点検すると、信仰は成長していきます。彼らの祈りはますます焦点を当てたものになっていきます。そして悪魔は、彼らの祈りが力を増しているのに気づき、気をそらせるための策が実行されるのです。時折、非常に激しい祈りの真っ只中に電話が鳴り、電話が鳴るとあなたは「電話に出てから、また戻ってきて祈り続けたらいいや」と思います。しかし、あなたが戻って来る頃には、また祈りは初めからやり直しです。悪魔はこれを望んでいるのです。

気をそらすための敵の他の策略もあります。あなたの体を触ったり、体のどこかに痛みを生じさせたりします。あなたを空腹にさせて、台所で何かを食べさせるようにすることもあります。あなたをその場から離れさせることが出来れば、悪魔はあなたを負かしたのです。少年は牧師たちに言いました。「祈るため（いつでも出来る簡単な祈りのためではない）の時間を持つように人々を教えてください。一日一回、彼らは何にも邪魔されない環境の中で、心の奥底から神に焦点を当てる時間を持つべきです。」



もし人々がこのように祈りを続け、霊的に導かれ、さらに祈り続けるのなら、霊的に何かが起こります。祈りの火が岩にふれ、岩が溶け出します。そしてこの少年は言いました。岩が溶け始めると、それは非常に熱いため、どんな悪霊も耐えることができません。どの人間の霊も触れることはできません。彼らは全員逃げ出します。

そして靈的領域が開かれます。そうすると、祈りにおける全ての問題が止まります。地上で祈っていた人は、突然祈りがスムーズになったり、楽しめるようになったり、パワフルで激しいものになったりするのを感じます。私は、この時点で大抵の人は時間や他のことへの認識をすっかり失ってしまうことを発見しました。無秩序で混乱した状態になるわけではなく、時間については神が管理してくれるのです。しかしこれは、あなたが全てを脇に置き、神に繋がっているような状態です。そしてこの少年は、祈りが突き抜けると、それ以降は妨害するものは全く何もなく、祈っている人はその人が祈りたいだけずっと祈り続けるでしょうと言いました。もう彼を止めるものは何もありません。

また少年は、その人が祈り終えた後も、穴はあいたままだと言いました。祈っていた人が祈りの場所から移動すると、その開いたままの穴も彼らに伴って動きます。彼らはもう毛布の下にとどまってはいません。彼らは開いた天の下にいます。その状態では、悪魔は彼に対して何もすることができないのです。主の臨在は天からの柱のようで、彼らの生活にあります。彼らは守られており、柱の中にはとてつもない力で満ちていて、彼らが移動するとその臨在が他の人々にも触れるのです。それは、敵が他の人々に何をしたのかを明らかにします。そして、岩を溶かし、前進突破した祈りをした人は、敵である悪魔が他の人々に何をしたのか見つけるのです。そして、彼らが人々と話すとき、人々もまた柱の内側に入ります。彼らが柱の内側にいる限り、人々に対する全ての敵の束縛は弱まります。



この靈的うち破りを体験した人々が、罪人である他の人々とイエスキリストを分かち合うとき、彼らの抵抗は低いものとなるのです。そして、彼らを非常に容易く救いに導くことができます。彼らが病人のために、またはその他のことを祈るとき、彼らと共にある臨在が、全く異なる違いをもたらします。そしてこの少年は言いました。悪魔はこのような人々を嫌うのです。もし定期的に岩を溶かし天まで上る祈りが行われるなら、その場所には主の臨在があり、離れることがないのです。神を知らない人々がこのような場所に入ると、彼らの束縛は突然弱まるのです。



もし誰かが、彼らに対して愛と忍耐をもって伝道するなら、彼らは力や権力によってではなく、臨在する神の聖霊によって簡単に救いへと導かれます。しかし彼は言いました。もし誰も彼らに宣べ伝えようとしないなら、彼らはただ神の臨在に入り、罪を悟らされ、明け渡すか明け渡さないかを考え始めます。もし彼らが救いに導かれないなら、その場所から離れるとき、悪魔の束縛は強くなります。そして、悪魔はこのような環境に二度と入らせないようベストを尽くすのです。

あなたの想像通り、私たちはみな座ってこの少年の話聞いていました。彼は以前にしていたことや見ていたことを話しました。それから彼は、祈りにおいて靈的打ち破りをした人々に対してしたことを話しました。彼は言いました。敵はそのような人をマークしその人々のことを調べました。敵はそのような人々の弱みを見つけるために彼らに関して見つけられるものすべて丹念に調べていました。誰かの祈りが岩を溶かし突き抜けると、敵は他の悪霊と連絡をとり、こう言うのです。「これとこれとこれを使って彼を狙え。これらが彼の弱みだ。」その人がその祈りの場所から出てくると、祈りの靈が彼に注がれ、主の臨在は彼と共にあり、彼の靈は高められ、主の喜びが彼の力となります。しかし、彼が移動するとき、敵はどうかして主から焦点をそらすためにできる何かをこの人にもたらそうとするのです。

もしその人の弱みが怒りっぽい気質であれば、敵は人を使って彼を怒らせるような原因をつくりまします。もし彼が聖霊に敏感に反応しない人なら、彼は怒るでしょう。そして、主から目をそらせてしまいます。彼は怒り狂います。数分後、怒りを追いやって、主の喜びに目を向けようとしませんが、主の喜びをもはや感じる事が出来ません。再びよい気分になろうと試みますが、もはや喜びを感じないのです。なぜか？誘惑に屈するとき、敵は彼の上にある穴を閉じようと躍起になるのです。一度、岩が元通りにされると主の臨在は切断されてしまいます。その人は、神の子どもではなくなるという訳ではありません。しかし、彼の生活にもたらされる特別な油注ぎ、彼自身の努力とは別に働いていたその神の臨在は切断されます。そして敵は、弱みはどこかと探すのです。



もしこの人の弱みが性的不品行に対する誘惑だとすれば、敵はイベントや人、彼の情熱を掻き立てて誘惑に直行させる何かを用意します。もしその人が誘惑に屈して、このような考えを受け入れそれを楽しむなら、その後再び油注ぎの中に戻りたいと思っても、その油注ぎはもうありません。あなたはおそらく言うでしょう。「そんな不公平だ！」と。聖書が言うことを思い出してください。「救いの兜をかぶりなさい。正義の胸当てをつけなさい。」私たちは通常、霊的戦いにおいてこれらの武具の役割を理解していません。しかしイエスが私たちに祈るように言われた主の祈りの終わりの部分を思い出してください。「私たちが試みにあわせず、悪からお救いください。」



祈るたびに打ち破りがあるとしても、忘れないでください。あなたはまだ弱い人間なのです。まだあなたは完全にされていないのです。主に求めてください。「主よ、この祈りの時間を楽しみました。しかし、この世に出て行くときに、私を誘惑にあわせないでください。私が悪魔の罠にかからないようにしてください。外では敵が罠を仕掛けて知っているのを知っています。それがどのような形なのか分かりませんが、私はある領域に弱さがあります。状況が整えられれば、私は誘惑に屈してしまいます。主よ、私をお守りください。私が仕掛けられた罠にかかりそうになるときは、罠とは別の方向へ私を向かせてください。主よ、とりなしてください。私が自分の力や能力で動くことのないようにしてください。悪から救い出してください。」

神にはそうすることができます。神には可能なのです。だから時々、このようなことが起こるのです。あなたは言うべきことはこうです。「ありがとうございます、イエス様。」だから使徒パウロは1テサロニケの手紙でこう書いています。「どんなことにも感謝しなさい。これこそ、キリスト・イエスにおいて、神があなたがたに望んでおられることです。(1テサ5:18)」あるものはよいものではありません。痛みを伴いますし、なぜ神がこれが起こるのを許したのだろうと、疑問に思うかもしれません。しかしもし神が私たちが何から救っているのかを私たちが知るなら、私たちは神に感謝するでしょう。私たちが主に信頼することを学ぶとき、私たちは全てのことを神に感謝するのです。

神にはそうすることができます。神には可能なのです。だから時々、このようなことが起こるのです。あなたは言うべきことはこうです。「ありがとうございます、イエス様。」だから使徒パウロは1テサロニケの手紙でこう書いています。「どんなことにも感謝しなさい。これこそ、キリスト・イエスにおいて、神があなたがたに望んでおられることです。(1テサ5:18)」あるものはよいものではありません。痛みを伴いますし、なぜ神がこれが起こるのを許したのだろうと、疑問に思うかもしれません。しかしもし神が私たちが何から救っているのかを私たちが知るなら、私たちは神に感謝するでしょう。私たちが主に信頼することを学ぶとき、私たちは全てのことを神に感謝するのです。

愛する人たち、僕は終わらすことができない何かを始めることは嫌なので、さらに深く話すべきなのかどうか分かりません。しかし(これから話すことを)もう一歩先に進ませてください。そしてこの男性は言いました。祈りがこのように突破すると、その答えがいつも来ます。そして彼は、このように祈りが突破して、祈りが答えられなかったケースは見たことがないと言いました。彼は言いました。答えはいつも来るが、大抵の場合祈り求めた人に届くことは決して無いと。なぜか？天で戦いがあるからです。敵が、祈りによって開かれた天を断絶し岩を元に戻すのに成功すると、敵はこの祈った人を見張り、そして待ちます。なぜなら敵は祈りの答えが必ず来ると知っているからです。

そしてこの男性は、私の信仰にショックを与えることを言いました。彼が次に分かち合ったことについて、私は「主よこれは本当ですか？ 本当なら証明してください」と尋ねるために十日間の断食をすることにしました。彼は、どのクリスチャンにも一人、それぞれに仕える天使がついていると言いました。聖書が言うように、天使たちは私たちに仕える霊であると私たちは知っています。彼は言いました。私たちが祈るとき、祈りの答えは天使の手を通じてやってきます。ダニエル書に書かれてあるように、天使が祈りの答えを持ってきます。そして彼は、とても信じがたいことを言いました。もし祈る人が霊的な武具について知っており、霊的な武具を身に付けているのなら、祈りの答えは霊的な武具を完全に装備している天使によって運ばれて来ます。



しかし、祈る人が霊的武具を身につけることを気につけないなら、天使は霊的な鎧をつけないでやってきます。クリスチャンが自分の思いに入ってくる考えに無頓着で、自分の思いを守るために抵抗しないなら、彼らの天使は兜を装着せずにやってきます。あなたが地上で無視する霊的な武器は、あなたに仕える天使もそれを身につけていないのです。言い換えれば、私たちの霊的な武具は私たちの物理的肉体を守るのではなく、私たちの霊的な功績を守っているのです。

そしてこの男性は言いました。天使が来るとき、敵は天使を見て、どの領域が無防備であるかを見つけ、その領域を攻撃します。もし天使が兜をかぶっていなかったら、敵は頭を打とうとします。もし天使が胸当てをつけていなかったら、悪魔は胸を狙います。もし天使が靴を履いていなかったら、火をおこします。そして天使は火の中を歩かざるをえない状態になります。私はこの男性が言ったことをもう一度繰り返します。実際私たちは彼に尋ねました。「天使は火を感じるのですか？」彼は何と答えたと思いますか？これは霊的領域で起きていることであることを忘れないでください。彼らは霊に対抗する霊なのです。この戦いは激戦です。そして敵が神の天使を打ち負かすとき、敵が最初に狙うのは天使が運んでいる祈りの答えです。敵はそれを天使から奪い、これをカルトや魔術に関わる人々に与えるのです。そして人々は「私は魔術を通してこれを得た」と言います。



ヤコブの手紙で聖書が何と言っているか覚えていますか？すべてよいものは神からくると言っています。では、悪魔は彼の人々に与えるものは、どこから得ているのでしょうか？子供を授かることができないある人々は、呪術医やサタン崇拝者の元へ行き、子を得ます！その赤ん坊を与えたのは誰でしょう？サタンは創造主でしょうか？いいえ、違います！悪魔は最後まで祈らない人々から盗んでいるのです。イエスは言われました。「**絶えず祈りなさい。**（1テサ 5:17）」そしてこう言いました。「**しかし、人の子が来るとき、果たして地上に信仰を見いだすだろうか。**（ルカ 18:8）」それともあなたはあきらめますか？あなたがあきらめるなら、敵はあなたが祈っていたものを盗むでしょう。

そしてこの男性は、敵は祈りの答えを盗んだだけでは満足しないと言いました。敵は天使を監禁することにも興味があります。そして敵は攻撃し始めるのです。時折敵は、天使をつかみ束縛するのに成功します。そうすると、その天使が仕えている地上のクリスチャンもまた犠牲者になります。敵はそのクリスチャンに何でもすることができます。なぜならそのクリスチャンは霊的領域で奉仕する天使がおらず、完全に取り残されているからです。

私は彼に尋ねました。「天使は悪魔の勢力によって、とらわれの身になることもあるということですか？」この男性はこれら全てのことについて語りましたが、その当時聖句を知りませんでした。彼はそれほど多くの聖句を知りませんでした。彼はただ経験を分かち合っていただけでした。そして彼は言いました。敵は天使を長い間は拘束することができません、なぜなら他のクリスチャンがどこかで祈っていて、増援部隊が来て天使は自由の身になります。もし責任があるクリスチャンの祈りが突破しなければ、天使は囚われの身のままです。そして敵は、墮天使たちを光の天使として、地上のクリスチャンたちに送るのです。そして、偽りの幻や偽りの預言、霊による偽りの導き、そして間違っただけの選択をさせるという、偽りがその人に入ります。誤ったビジョンや預言、誤ったリーダーシップ、つまり、霊的に間違っただけのすべての決断をしていくのを導くリーダーシップです。そして多くの場合、この人はあらゆる種類の攻撃や束縛にも無防備な状態です。

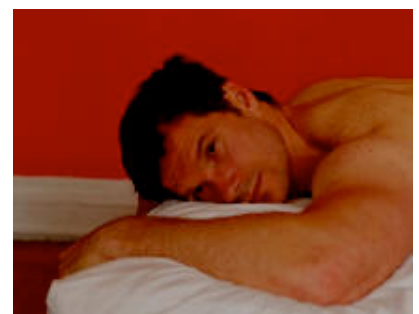


私は主に尋ねました。私は大いに頭を悩ませながら、その夕食の席を立ちました。私は言いました。「主よ、私はこのことを信じたくもないし、信じようともしたくありません。」そのことは、私の全ての自信と安心感を奪い去りました。主を探し求めた十日間の断食期間に、主は以下の二つのことをされました。一つは、主はこの男性が言ったことを確認されただけでなく、男性が語らなかった霊的領域において起きている、さらに多くのことを理解出来るように、私の心を開かれました。二つ目に、私たちが打ちのめされるのではなく、打ち勝つように、これらのことが起きている時、私たちが何をすべきなのか分かるように導かれました。私たちは以下三つの事柄を知り、心から受け入れる必要があるのです。



一つ目は、私たちの戦争に対する武器を使う方法です。聖書ではこれらを神の武具と呼んでいます。これは私たちの武具ではなく、神の武具です。私たちがそれを用いるとき、私たちは神が私たちの代わりに戦われることを認めるのです。二つ目は、私たちに仕える霊である天使と私たちの霊的生活の関係を理解し、霊的領域でなされるべきことを知るために私たちの心の中で起きている事柄に敏感になることです。それが三つ目に繋がります。つまり聖霊です。

私たちは聖霊を、自分に仕え、色んな物を持ってきてくれる僕と見なすべきではありません。聖霊は、私たちに何が必要なのかを父に伝えるために、私たちの間を行ったり来たりされるものではありません。それは天使の仕事です。聖霊は私たちのそばにいてくださいます。では何をなさるのでしょう？ 私たちを導き、教え、リードし、正しい方法で私たちが祈れるように助けてくださいます。そしてこれらのことが霊的領域で起こるとき、聖霊は知らせてくださいます。時々私たちを夜中に起こして言われます。「祈りなさい。」と。しかしあなたは「いいえ！まだその時間ではありません。」と言います。そして聖霊は言われます。「今すぐ祈りなさい！」なぜでしょう？聖霊は、霊的領域で何が起きているのかご存知だからです。時々聖霊は言われます。「明日断食しなさい！」しかしあなたは言います。「えー、いやです。月曜日から始めます！」



しかし聖霊は、霊的領域で何が起きているのか理解されています。私たちは聖霊に敏感になることを学ぶべきです。聖霊は私たちを義の道に導かれます。愛する皆さん、私たちはここにとどまらなければなりません。明日の朝は、戦いが霊的領域で繰り広げられていることを知り、祈りの打ち破りの方法を知りつつ、最後まで祈る方法について話し合うかもしれません。そしてその打ち破りをどのように維持するのかについて。一度このことを学ぶと、それを楽しめるようになります。そして、一つのことを知るようになります。それは、戦いは私たちのものではなく、主のものであるということです。ハレルヤ！

立ち上がりましょう！ある人を見てください、そして神がその人に与えようとしたものを彼がどれほど受け損ねていたか考えてみてください。もし可能なら、二人、または三人で手をつないで、お互いにこう言い合ってください。「もう負け続ける必要はない。私たちは打ち勝つことができる！克服するのに十分な力を持っている！イエスがすべてのわざを完了された。」私たちが克服するのを主が助けてくださるよう、互いに祈り合ってください。私たちは負けるべきではありません。勝利のための十分な恵みと十分な力があるのです。



イエス様、ありがとうございます。

Translated by Christian Animations,
<https://www.youtube.com/channel/UCWEnBqxpmMEbB7IGtwb9Oig>